

不二越工大勝 中盤以降底力

不二越工の石動

谷投打で活躍

【評】不二越工打線が中盤以降に石動投手陣を攻略し、大勝した。

1点を追う四回、森本と谷の適時打で計3点を挙げ、逆転に成功。五、七回は、相手投手が疲れて球が甘くなったところを逃さず計7点を追加し突き放した。投げては谷、向坂の継投で抑えた。

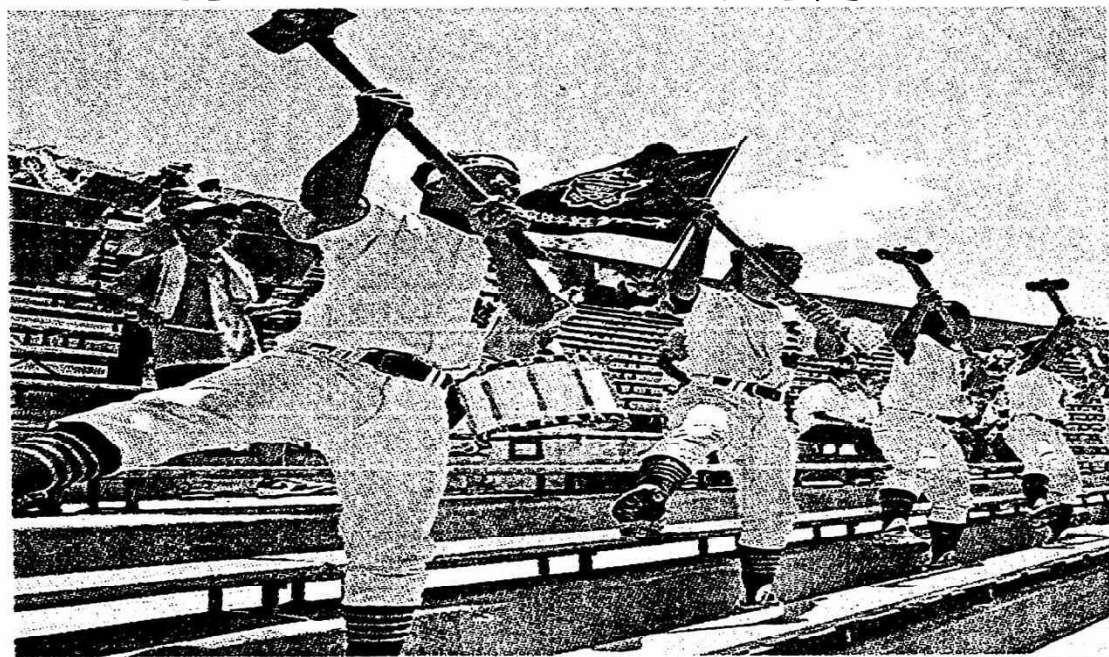
石動は二回、古川の適時内野安打で先制。三回以降は、毎回のように走者を出したが、得点に結び付けられなかった。

(磨伊)

○：不二越工のエース谷が、この日は打撃で輝きを放った。四回、同点に追い付いた後の二死二、三塁、真ん中に甘く入ってきたカーブを逃さずとらえて勝ち越しの2点適時打。「4番打者のつもりで打席に立った。気持ち強く持って挑んだのがよかった」と振り返った。その後、勢いづいた打線は五回以降に計7点を奪った。

マウンド上でも4回を1失点と上々の投球を見せた。「次戦も最初から全力で戦いたい」と意気込んだ。

いよいよ3回戦 砺波工業戦 頑張ろう 伝統の踊りでの応援風景



伝統の「ハンマー踊り」を披露する不二越工の野球部員たち。県営富山球場で

伝統ハンマー踊り

○：不二越工のスタンドでは、伝統の「ハンマー踊り」が7回の攻撃前にお目見えした。野球部員十人が応援歌に合わせて木製のハンマーを勢いよく上下に振った。

工業高校らしい応援をしようと元職員が考えた。ハンマーで相手に打ち勝つという意味が込められている。一九九三年に夏の甲子園に初出場した時も披露した。

野球部の応援をまとめる牧村英則君（二年）は「バットを持っている選手もハンマーを持っている自分たちも心は一つ」と力を込めた。